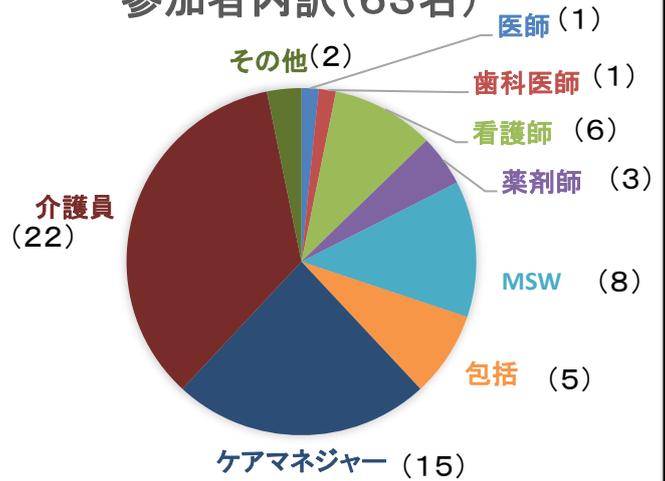


第2回地域の医療・介護職種による相互研修（交流）会ご報告

日時：令和元年10月23日（水） 18:30～20:30
 会場：石巻赤十字病院 災害医療研修センター 講堂
 「どうする？何ができる？～終末期の寄り添い支援～」
 <プログラム>

- 【開会挨拶】
石巻市医師会訪問看護ステーション所長 阿部 朋美様
- 【情報提供1】
「看取り期における心と身体の変化」
石巻市立病院 医師 長 純一 氏
- 【情報提供2】
「スピリチュアルケア～終末期における心のケア～」
建立寺 住職 坂本 顕一 氏
- 【情報交換・交流会（グループワーク）】
- 【閉会挨拶】
石巻薬剤師会 副会長 丹野 佳郎 様

参加者内訳（63名）



<参加風景>

開会挨拶：阿部氏



講話：長氏



講話：坂本氏



閉会挨拶：丹野氏

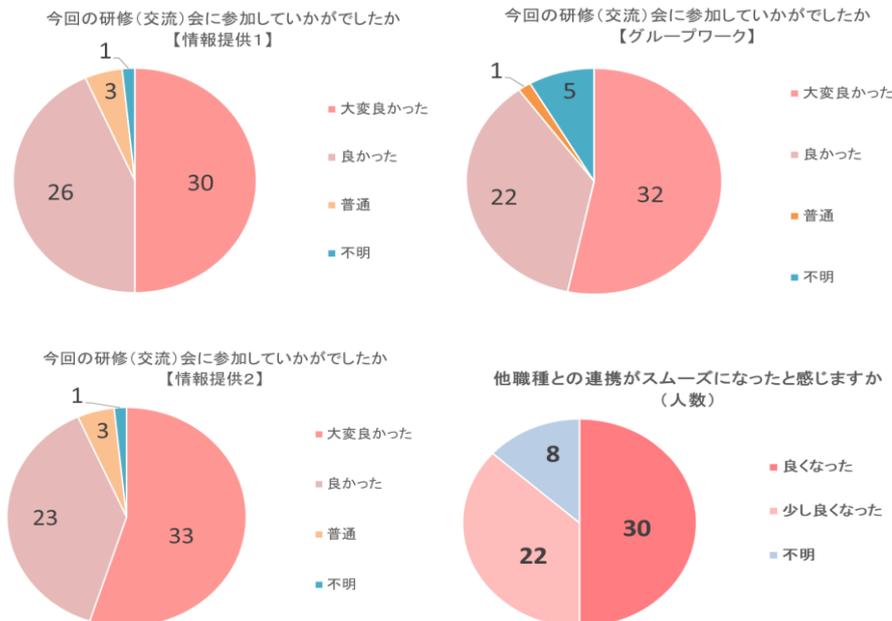


医療と介護の連携がより進めば、地域での看取りの質が向上し、数もさらに増えていくと思います。

どのような行為でも、愛（慈悲）があれば、スピリチュアルケアになり得ます。また、自分の無力を受け入れることが大切です。



<アンケート結果（n=60）>



<感想>

- 同じテーマでも、立場によって色々な形が見えることがわかった。また、みんな同じ立場に立って話せたのが良いと思った。
- 看取りについて多職種での視点を知れて良かった。色々な状況があって周囲の意見などもあって看取りを過ごすにあたり、本人にとっての「その人らしさ」「その人らしい最期」が少しでも出来る方法を提案していけるようになっていきたいと感じました。
- グループワークでの話も得るものが多く、看取りとは「あなたが選ばれたんだよ、その人に」と新人さんに教えるという意見にとても胸を打たれました。研修において看取りについての担当講師をしているため、新たな収穫が得られて嬉しかったです。
- 傾聴の大切さを再認識しました。意思決定や状況は変わるものだという事。今回、多職種の方とのグループワークでいろいろな話が聞けて充実した時間を過ごすことができました。